

会 議 録

会議名		令和7年度 第2回 小金井市学童保育所運営協議会
事務局 (担当課)		児童青少年課
開催日時		令和7年5月27日（火） 19時00分～20時00分
開催場所		第二庁舎8階801会議室及び一部オンライン会議
出席者	委員	平岡委員長、川副副委員長、田中委員、美川委員、鈴木委員、大庭委員、加藤委員、藤崎委員、伊東委員、矢野委員
	事務局	野村学童保育係長、中山主査、鈴木主査、楠本主任、大島主任
欠席者		堤委員
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 民設民営学童保育所募集の概要について (2) その他（要望書の回答修正・職員体制の修正版の再送） 3 閉会
配布資料		
議事		1 開会 委員長から開会の挨拶、議題の紹介 2 議題 (1) 民設民営学童保育所募集の概要について (市) 今年度は、桜町1丁目にある社会福祉法人聖ヨハネ会の保育施設を民設民営学童保育所の実施場所として指定のうえ、募集することが決定。緑小、第二小が対象エリア。公募の詳細については、6月1日以降の市報、または市ホームページに掲載する予定。 (学) 全体の政策について、小金井市は学童増設についてどのような計画を検討しているのか。 (市) 「のびゆくこどもプラン 小金井」という子育て支援事業計画に明記している。学童の利用率の上昇が高い重点エリアを優先に民設民営学童保育所の募集を行っている。また、併せて、学校の活用についても関連する担当部署と検討を進めている状況。 (学) 各学校の生徒数、増加分を基に評価をしていると理解したが、保護者が子どもを預けるという視点でいうと保育園の状況を基にした方が

もう少し正確な予想ができるのではないか。長期的に見た子どもの人数の増減予測が重要であると考え。学童利用率の上昇と子どもの人数が減少する時期との兼ね合いもあると考えるが、何年計画で確保する方針で動いているのか。

(市)

5年で確保したいと考えている。学校の児童数を基に検討しているのではなく、あくまでも学童の利用率でみている。利用率の伸びを鑑みて5年で改善すべきと考えている。保育園の預け先不足が顕在化した時期には、人口減少の傾向から、学校の教室を使えることを見込んでいたものと考えている。ただ、学級編制の変更など学校の状況も変化し、学校に支障がない範囲で、学童として教室が使える状況にあるのかどうかは教育委員会と慎重に調整を行っている状況である。公共施設と民間活力の活用の両軸で、解決までの時間短縮を目指している状況。

(学)

教育委員会と市役所が縦割り行政で分かれている印象がある学校現場の方とはどのようなところで協議の場があるのか。

(市)

教育長・副市長・児童青少年課・子ども家庭部長・学校教育部長・生涯学習部長・庶務課長・生涯学習課長・指導室長で学童の状況共有と学校利用の依頼を行っており、放課後の子どもの居場所については双方重要課題として認識している。学校現場の先生も学童の学校利用について、協力していただいている。協議の場に校長は入っていないが、教育長や学校教育部長が学校への情報共有などを行っている。

(2) その他(要望書の回答修正・職員体制の修正版の再送)

(市)

要望書の回答修正について報告する。3月の運営協議会で配布した資料からの変更点を説明する。主な変更点として、あかね学童・さくらなみ学童・ほんちょう学童へ5月にジョイントマットを購入・配置。空調清掃の予定、中庭の剪定作業予定など。

また、10月より入退所オンラインシステムの導入を行う予定。職員体制について、欠員状況を説明する。まえはら学童保育所の常勤職員数・指導員数・補助員(時間額制)の修正あり。

(学)

エアコンの水漏れや職員ロッカーの対応等で現場の裁量で使えるお金は無い。そういうものがあれば早期対応が可能なので助かる。

	<p>(市)</p> <p>委託所（みどり、あかね、まえはら学童保育所）についてはプロポーザルを実施し、今年度から新たに修繕費を１０万円上乗せしている。今年度からはこの中から修繕等が発生した場合は対応していただく。</p> <p>(学)</p> <p>次年度の予算要望はどのようなスケジュールになるか。</p> <p>(市)</p> <p>例年９月頃に学保連要望書をいただいている。各所から要望が出てきたものを学保連で取りまとめて市に提出いただいている。</p> <p>次回日程 令和７年６月２４日（火）１９時から第二庁舎８０１会議室で開催予定。開催方法に関しては副委員長と調整しつつ、開催していくこととする。</p> <p>３ 閉会</p> <p>令和７年度第２回小金井市学童保育運営協議会を閉会する。</p>
--	--